

気候変動課題の解決へ向けて、環境目標 2030 を設定 ～自社排出量“ゼロ”、製品廃棄“ゼロ”、環境配慮型素材の使用比率“50%”を目指す～

世界中のすべての人々が輝くことができる持続可能な社会と、事業の成長をともに実現するため、ワコールグループはガバナンスや人権、環境などの ESG 課題に対する取り組みを強化しています。このたび、深刻化する気候変動課題の解決と脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めるため、2030 年に向けた独自の環境活動の目標を設定しました。また、気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言に賛同(※1)するとともに、グループとして初めてサプライチェーンにおける温室効果ガス排出量(Scope3)の調査を行っており、2022 年春には削減目標を開示する予定(※2)です。

環境目標 2030

① **自社排出量をゼロに**(対象：国内事業)

温室効果ガスの自社排出量(Scope 1、2)「ゼロ」を目指し、順次、再生エネルギーへの切り替えを実施

② **製品破棄をゼロに**(対象：(株)ワコール)

製品破棄「ゼロ」(20 年 3 月期の破棄率は 1.0%)を目指すとともに、工場での残材料破棄削減に向けた取り組みを推進

③ **環境配慮型素材の使用比率を「50%」に**(対象：(株)ワコール)

再生繊維やリサイクル糸などに切り替えるなど、環境配慮型素材の使用比率「50%」を目指す

また、環境やサステナビリティに対する関心が高まる中、「良い商品を長く使いたい」「環境に配慮した商品を使用したい」という消費者の要望に応えるため、「Wacoal」より環境配慮型商品グループ [Nature Couture(ナチュレクチュール)] の発売を開始しました。

引き続き、「地球環境を守ることは企業の責務である」との認識に立ち、消費者に長く愛していただける“ものづくり”と、環境保全に配慮した事業活動を推進していきます。

※1：TCFD 提言に沿った開示については、2022 年度に予定

※2：海外事業の取り組みについては、次年度以降、自社排出量の調査から開始(削減目標の設定時期は未定)



「Wacoal」 [Nature Couture(ナチュレクチュール)]

温室効果ガス排出量の削減に向けて

脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進め、サプライチェーンにおける温室効果ガスの排出量削減をより確実なものにするため、当社グループは、2021年7月、「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン(ver.2.3)※出典：環境省・経済産業省」に従い、ワコール事業(国内)のサプライチェーン全体における温室効果ガス排出量(Scope3)を初めて算定しました。また、気候変動への取り組みに関する情報開示を推進するため、国際的な非営利団体であるCDPの気候変動質問書にも2021年7月末に初めて回答しました。

ワコール事業(国内)における温室効果ガス排出量については、サプライチェーンにおける排出量(Scope3)が全体排出量の大部分を占めており、中でも「購入した製品・サービス」の排出量が約90%を占めていることを確認しました。温室効果ガス排出量の削減目標と削減プロセスについては、2022年3月期中に議論を進め、新中期経営計画とともに開示する計画です。

また、Scope3の削減に向けては、サプライヤーとの協働が重要となります。中長期的な視点からサプライチェーン全体での気候変動に対応するための行動計画やプロセスについて検討するとともに、サプライヤーへの温室効果ガス削減の働きかけを進めていきます。

Scope/カテゴリ	バウンダリ	CO2排出量[CO2e-t]	構成比
Scope1	日本国内の事業所・工場・流通センター (PJ・トリーカ対象外)	1,833	1%
Scope2	日本国内の事業所・工場・流通センター (PJ・トリーカ対象外)	4,719	1%
Scope3	ワコール (国内) 事業のみ (PJ、その他は調査対象外)	337,730	98%
	カテゴリ1 購入した製品・サービス	307,195	91%
	カテゴリ2 資本財	13,507	4%
	カテゴリ3 Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	1,279	0%
	カテゴリ4 輸送、配送 (上流)	4,523	1%
	カテゴリ5 事業から出る廃棄物	289	0%
	カテゴリ6 出張	3,681	1%
	カテゴリ7 雇用者の通勤	1,027	0%
	カテゴリ8 リース資産 (上流)	1,542	0%
	カテゴリ9 輸送、配送 (下流)	2,357	1%
	カテゴリ10 販売した製品の加工	算定対象外	
	カテゴリ11 販売した製品の使用	算定対象外	
	カテゴリ12 販売した製品の廃棄	2,331	1%
	カテゴリ13 リース資産 (下流)	算定対象外	
	カテゴリ14 フランチャイズ	算定対象外	
	カテゴリ15 投資	算定対象外	
		344,281	

持続可能な地球環境の実現に向けた、新しい環境配慮型の商品・グループの発売について

(株)ワコールでは、「Wacoal」から“やさしい世界を、身につける。”をコンセプトとした商品グループ [Nature Couture(ナチュレクチュール)] を9月中旬より発売しました。[Nature Couture] は肌ざわりのよい素材と肌あたりのよい設計で、着る人にとってやさしく、廃棄材料を抑えたデザインで環境にもやさしいことを目指したインナーウェアです。アメリカ産のオーガニックコットンや、マニラ麻から採れるセルロース繊維を主原料とした和紙といった自然由来の素材を使用し、無染色のカラーやオリーブの葉、バラの花など植物から抽出した色素を使用したカラーで展開します。さらに今後は、生地のカット時に発生する廃棄材料を国内工場回収し、それを糸に再生して次シーズン以降の [Nature Couture] の材料として再利用する“廃棄材料リサイクルシステム”の確立を目指します。

[Nature Couture] 公式サイト <https://www.wacoal.jp/naturecouture/>

※2021年10月4日に、リリースを配信しておりますので、そちらも併せてご確認ください。

<https://wacoalholdings.jp/news/2021/wacoalnature-couture.html>

(ご参考)ワコールグループにおける消費者と地球にやさしい事業活動について

“愛されるものづくり”の実践

お客さまに“長く愛していただく”商品を提供するため、材料調達、商品企画・設計、生産の全ての過程で品質向上に向けた活動を推進しています。長くご愛用いただくことを通じて、お客様のサステナブルな消費活動に貢献します。

一人ひとりにフィットするサービスにより、サステナブルな選択を提供

販売員によるコンサルティング販売、デジタル技術を活用した「3D smart & try」により、一人ひとりにフィットする商品やサービスを提供することで、サステナブルな選択を可能にします。



生産された製品の品質を丁寧に検査



「3D smart & try」

在庫を残さない仕組みづくり

総生産・総在庫・総販売の考えのもと、利益を創出しつつ、製品廃棄を極力少なくする仕組みを構築しています。なお、2020年3月期における(株)ワコールの製品破棄率(※)は 1.0%です(※生産数量に対する廃棄数量で算出)。



製品廃棄を極力少なくする仕組みを構築



コンサルティング販売の様子

「ブラリサイクル活動」の推進

(株)ワコールで実施する「ワコール ブラリサイクル」活動は、「ブラジャーは捨てにくい」というお客様の声から生まれた、不用になったブラジャーを回収・リサイクルする企画です。日本環境設計(株)の「BRING」に参加して実施しており、回収されたブラジャーは生活雑貨などのパーツに生まれ変わります。

本年度の「ブラリサイクル活動」は、2021年10月1日～2022年3月31日(木)までの期間、全国約750店舗にて実施しています。



「ワコール ブラリサイクル」公式サイト <https://www.wacoal.jp/braeco/>

※2021年10月4日に、リリースを配信しておりますので、そちらもあわせてご確認ください。

<https://wacoalholdings.jp/news/2021/-101.html>

物流における省エネの取り組み

ワコール流通(株)では、企業環境活動の推進と電力使用量の削減を目的に太陽光発電システムを導入(発電量としては滋賀県最大規模)。またファッション業界では先行して、モーダルシフトによる輸送を実施しています。



モーダルシフト



滋賀県最大級の太陽光発電

マネキンにおけるエコの取り組み(七彩)

(株)七彩では、2018年より、100%植物由来のディスプレイトルソー「BIO TORSO(ビオトルソー)」を展開。従来通りの耐熱・耐衝撃を実現したバイオプラチックで、生分解され自然に還元されます。

「BIO TORSO(ビオトルソー)」公式サイト <https://www.nanasai.co.jp/biotorso/>



【お問い合わせ先】

株式会社ワコールホールディングス コーポレートコミュニケーション部(担当：布川、山本)

TEL：075-682-1028 FAX：075-682-1138